

2016年11月10日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 1番5号 PMO 日本橋江戸通
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報部 TEL.03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

多種多様な志向に対応した商品の育成が進む

菓子、スナック菓子、スープ類、育児用食品の国内市場

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、2016年8月より6回に分けて27カテゴリー412品目の加工食品国内市場について調査を行っている。その第1回目の結果を報告書「**2017年 食品マーケティング便覧 No.1**」にまとめた。

この報告書では菓子32品目、スナック菓子9品目、スープ類12品目、育児用食品3品目の4カテゴリー56品目の市場を調査・分析した。なお、第2回目は冷凍調理済食品、チルド調理済食品、その他調理済食品、アルコール飲料、第3回目はチルドデザート、フローズンデザート、ドライデザート、米飯類、めん類、その他ステーブル、第4回目は調味料、調味食品、第5回目は農産加工品、畜産加工品、水産加工品、乳油製品、第6回目は果実飲料、炭酸飲料、乳性飲料、嗜好飲料、健康飲料、その他飲料、嗜好品の市場を調査・分析する。そして第7回目にこれまで調査・分析した各市場を総括分析する。これらの結果は順次発表していく。

<注目の品目市場>

チョコレート（菓子） ハイカカオ商品、機能性表示食品が好調

2015年	2016年見込	2015年比
3,109億円	3,220億円	103.6%

2015年は主要ブランドでは、値上げを実施したことで買い控えが起こり、販売実績を落とす商品が多かったが、ハイカカオ商品が中高年層の健康志向の高まりを受けて好調を続け、市場は拡大した。2016年は引き続き特売などの価格訴求の強い商品の需要に加え、メディアでカカオポリフェノールが取り上げられたことでハイカカオ商品の実績がさらに増加すると共にカカオ分70%台の商品が食べ易さから常用が増加している。また前年に発売された「スイーツデイズ乳酸菌ショコラ」（ロッテ）や2016年3月に発売されたチョコレート初の機能性表示食品「LIBERA」（江崎グリコ）が好調である。機能性商品や高価格商品の好調で低価格商品との二極化が進んでいるが、市場は今後も堅調に拡大していくとみられる。

ファブリケートポテト（スナック類） ポテトチップスタイプに注目が集まる

2015年	2016年見込	2015年比
849億円	888億円	104.6%

原料のジャガイモを潰して油脂や調味料と共に成型、加工した商品を対象とする。

2015年の市場は「じゃがりこ」（カルビー）の好調が続いたことやポテトチップスタイプの高成長、その他既存ブランドの販売も注力され、2014年比2.5%増となった。2016年はポテトチップスタイプの高成長が続いていることから8月にカルビーがポテトチップスタイプの新商品を発売したことや、「じゃがりこ」Lサイズの販売チャネルの拡大もあり、市場は拡大が見込まれる。

即席みそ汁（スープ類） 減塩タイプ商品の拡充、あらゆる世代や嗜好、シーンに対応

2015年	2016年見込	2015年比
597億円	610億円	102.2%

即席みそ汁は健康を気にする中高年層に向けて減塩タイプの商品が拡充され、フレーバーも選択肢が増加している。またファミリーパックに加え、カップ入りやフリーズドライタイプの展開もみられ、あらゆる世代や嗜好、飲用シーンに対応している。

2015年は各社が付加価値や機能性を高めた商品の投入や積極的なプロモーションにより実績を伸ばしたことで、市場は過去最高となった。2016年も各社の積極的な商品投入と店頭販促の強化によって市場は引き続き拡大が見込まれる。

カップ入りスープ（スープ類） フリーズドライスープやフォーなど目新しい商品が市場をけん引

2015年	2016年見込	2015年比
336億円	355億円	105.7%

カップ入りスープは個食需要が高まっており、2015年の市場は特に働く女性のランチ向け需要を獲得したことから各社とも好調で、2014年比3.4%増となった。2016年はカップ入りフリーズドライスープやフォーといった高付加価値や新機軸の商品に各社が注力しており、引き続き市場は拡大が見込まれる。

育児用調製粉乳（育児用食品） インバウンド需要に加え、簡便性の高い商品が好調

2015年	2016年見込	2015年比
477億円	492億円	103.1%

2015年の市場は、中国人観光客を中心としたインバウンド需要が大きく影響し、2014年比5.1%増となった。国内需要は母乳で育てる親が増加しているなど厳しい状況が続いているが、安定したインバウンド需要と、明治の「らくらくキューブ」の様に固形タイプで計量不要かつ持ち歩きに便利など、簡便性の高い商品が好調なこともあり、2016年の市場は2015年比3.1%増が見込まれる。

<調査結果の概要>

	2015年	2016年見込	2015年比
菓子	1兆2,231億円	1兆2,455億円	101.8%
スナック菓子	3,188億円	3,236億円	101.5%
スープ類	1,782億円	1,837億円	103.1%
育児用食品	729億円	743億円	101.9%

菓子は2016年、縮小が見込まれる品目があるものの、ハイカカオ商品や乳酸菌配合、機能性表示食品が増加しているチョコレートや低価格でお得感の高い商品の好調が続くビスケット・クッキーなどが伸びている。またグミキャンディでは噛み応えのある食感とフレーバーにより男性の需要を、口中清涼菓子ではミント系錠菓を中心に女性の需要をターゲットとする取り組みが強化されるなど、市場は2015年比1.8%増が見込まれる。

スナック菓子は、厳しい価格競争が続く中、独自性の高い商品に特化する動きが目立っている。市場の伸長は鈍化するなか、ファブリケートポテト、ポテトシュースtringが好調であるが、ポテト系スナックは2016年夏に北海道で台風被害があったことから馬鈴薯の収穫量減少が懸念され、今後の商品供給に影響が出るとみられ、2016年は2015年比1.5%増が見込まれる。

スープ類は即席みそ汁が積極的なプロモーションや「減塩」など付加価値や機能性を高めた商品投入によって拡大を続けているほか、インスタントスープではカップ入りスープやフリーズドライスープが個食需要を獲得していることから好調となり、2016年の市場は2015年比3.1%増が見込まれる。

育児用食品は、中国人観光客を中心としたインバウンド需要が落ち着きを見せているが、育児用調製粉乳では簡便性を高めた商品の需要が増加しており、市場拡大をけん引している。一方ベビーフードは利用の拡大や離乳食の使用期間の延長などにより増加傾向にあるが、明治が撤退するなどマイナス要因もあり、前年を下回るとみられる。2016年は2015年比1.9%増が見込まれる。

<調査対象>

菓子		
米菓	豆菓子	ミックス菓子
ナッツ類(テーブルナッツ)	かりんとう	甘納豆
ゼリー菓子	スナック梅	レトルト素材菓子
ドライフルーツ	素材菓子	ビスケット・クッキー
クラッカー	プレッツェル	ウエハース菓子
マシュマロ	菓子パイ	半生ケーキ
チョコレート	チョコレート菓子	ガム
機能ガム	キャンディ類	ハードキャンディ
のど飴	ソフトキャンディ	チューイングキャンディ
グミキャンディ	キャラメル	口中清涼菓子
ミント系錠菓	玩具・雑貨菓子	
スナック菓子		
ポテトチップス	ファブリケートポテト	ポテトシューストリング
小麦系スナック	コーン系スナック	ポップコーン
ライス系スナック	野菜・その他スナック	カップ入りスナック菓子
スープ類		
粉末クッキングスープ	インスタントスープ	カップ入りスープ
フリーズドライスープ	わかめスープ	レトルトスープ
中華スープ	缶詰スープ	缶入りスープ
チルドスープ	冷凍スープ	即席みそ汁
育児用食品		
育児用調製粉乳	ベビーフード	ベビーフード菓子

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2016年8月～9月

以上

資料タイトル:「2017年 食品マーケティング便覧 No.1」

体 裁: A4判 265頁

価 格: 書籍版 100,000円+税

PDF/データ版 110,000円+税

書籍版・PDF/データ版セット 130,000円+税

書籍版・ネットワークパッケージ版セット 200,000円+税

発 行 所: 株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通

TEL: 03-3664-5811(代) FAX: 03-3661-0165

URL: <https://www.fuji-keizai.co.jp/>

e-mail: info@fuji-keizai.co.jp

調 査・編 集: 東京マーケティング本部 第一部

TEL: 03-3664-5821

FAX: 03-3661-9514

この情報はホームページでもご覧いただけます。

URL: <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>